

# 日本大学医学部東洋医学講座活動報告

教授 (兼任)	荒川 泰行
助教授	大久保 仁
助手	矢久保 修嗣
助手	木下 優子
助手	室賀 一宏
助手	横瀬 友好 (4月～)
客員医師	上田 ゆき子

## 1. 講座の沿革

当講座は、平成12年1月より株式会社ツムラによる寄附講座として、日本大学医学部に開設された。同年4月より、3人の医師により附属板橋病院にて東洋医学科外来診療を開始した。同年より6月に本学6年生を対象とした東洋医学の授業も受け持つこととなった。平成15年には、医師1名の増員があり、附属練馬光が丘病院東洋医学外来の診療を中国人医師から、2月より引き継ぐこととなった。また、本学1年生の医学序論でも授業を行うこととなった。

## 2. 診療

月曜日～金曜日の午前・午後、土曜日午前（7～8月は病院が土曜日休診）、附属板橋病院東洋医学科外来において、2つの診察ブースを使って2人の医師による診療を行っている。エキス剤による治療ばかりでなく、生薬による治療も行っている。

緩和ケア・チームに木下優子は所属し、病棟における悪性腫瘍患者の疼痛管理などに対して、漢方薬による治療も行っている。

また、附属練馬光が丘病院でも東洋医学外来の診療を月・水・金曜日の午後に行っている。ここでは、生薬による治療を中心に行っている。

## 3. 教育

### (1) 学生の講義

本学1年生を対象とした医学序論：東洋医学（1コマ）“東洋医学の現状と将来”（2004.7.9）を、木下優子が担当した。6年生を対象とした医学医療総論：東洋医学（5コマ）については、4コマを矢久保修嗣、木下優子、室賀一宏が担当し、1コマを石野尚吾先生（昭和大学客員教授）に”鍼灸概論”を講義していただいた。

また、6年生の選択授業のための準備を開始し、平成17年度より、学生の募集を行う予定である。

### (2) 学生のサークル活動

東洋医学・漢方医学に対して興味を持っている学生のサークルがあり、彼らの学習に対する助言、支援、指導を、木下優子が中心となって行っている。

### (3) 講演会活動

市民公開講座、医師会の研究会、勉強会等においても漢方医学診療普及のために積極的に講演を行っている。

## 4. 研究

(1) Q熱の診療を開始し、臨床研究を行った。日本では存在しないといわれていたQ熱ではあるが、血清学的検査により診断することが可能になってきた。当院の以前より行われている研究から、慢性Q熱患者は慢性疲労症候群様の症状を示し、現代の一般的な医療では難治性であることから、当東洋医学科で診療、研究を行うこととなった。

(2) 緩和医療における漢方医学的治療による効果の検討や、悪性腫瘍患者に対する東洋医学的治療の臨床効果を検討している。

(3) 漢方薬を構成する生薬などを含有する“香”の効果について、検討を行った。

## 5. 啓蒙活動

一般市民を対象として10月9日に板橋区民会館大ホールにおいて、第5回日本大学東洋医学市民公開講座シンポジウム“漢方でストレスに勝つ”が日本大学医学部東洋医学研究会（代表世話人・荒川泰行）、ツムラの共催により開催された。基調講演“ストレスは万病の元”喜多敏明先生（千葉大学環境都市園芸フィールド科学教育研究センター助教授）、講演1“シクシクおなかの話”木下優子）、講演2“ドキドキ心臓の話”横瀬友好、講演3“ゼーゼー喘息の話”馬島徹先生（本学内科学講座呼吸器内科部門講師）を行い、総合討論を矢久保修嗣の司会により進めた。

その他、雑誌、テレビ等のマスメディアにおいて漢方医学の啓蒙活動を行った。

## 6. その他

平成16年度第1回日本東洋医学会東京都部会（会頭：荒川泰行）を、平成16年10月3日に日本大学医学部記念講堂で開催した。特別講演1“音楽家の漢方診断”早川智先生（本学先端医学講座感染制御科学助教授）、特別講演2“婦人科の診療・私の好きな処方”寺師睦宗先生（銀座玄和堂

クリニック), 特別講演3“中国伝統医学に於ける脳と心の考え方”酒谷薫先生(本学脳神経外科学教授), 特別講演4“いろいろの皮膚病の漢方治療”二宮文乃先生(アオキクリニック). 前記4人の先生方に興味に深い講演を行っていただいた. 東洋医学会々員, 非会員の多数の参加が得られた.

## 7. 論文、原著、総説、症例報告、著書など

- 1) 木下優子: 緩和ケアにおける漢方治療. 漢方治療二頁の秘訣. 160-161, 2004
- 2) 木下優子: 新年のことは, 漢方の臨床 51(1), 35-36, 2004. 1. 25
- 3) 矢久保修嗣: 日常診療と漢方 [8] 高齢者の漢方治療 (3), P&M Kampo, 9 (1), 4-13, 2004
- 4) 木下優子, 矢久保修嗣, 白土辰子, 荒川泰行: 緩和ケアマニュアルにおける漢方治療計画について, 痛みと漢方. 14, 88-89, 2004. 6. 25
- 5) 矢久保修嗣, 室賀一宏: 日常診療と漢方 腎疾患と漢方治療, P&M Kampo 9(2), 4-9, 2004
- 6) 矢久保修嗣, 木下優子, 横瀬友好, 荒川泰行: 高血圧と漢方. 成人病と生活習慣病 (7). 967-972, 2004. 7
- 7) 荒川泰行, 天木秀一: 消化器疾患と漢方. 成人病と生活習慣病 (7). 991-994, 2004. 7
- 8) 荒川泰行, 佐藤弘: 慢性C型肝炎患者の肝細胞癌発症に対する漢方治療の抑制効果 日東医誌 55(4), 455-461, 2004
- 9) 木下優子: 防己黄耆湯, ペインクリニック 25(9), 1231-1232, 2004. 9
- 10) 木下優子: 桂枝加朮附湯, ペインクリニック 25(10), 1356-1358, 2004. 10
- 11) 矢久保修嗣, 他: 動悸、食欲不振、不眠. スキルアップのための漢方相談ガイド(南山堂), 43-66. 2004
- 12) 木下優子: 半夏厚朴湯. ペインクリニック 25(11), 1523-1524, 2004. 11
- 13) 矢久保修嗣, 牧野利明: アメリカにおけるサプリメント、生薬製剤、漢方薬の現状. P&M Kampo 9 (3), 4-10, 2004
- 14) 矢久保修嗣, 木下優子, 室賀一宏, 横瀬友好, 荒川泰行, 北川進: 生薬を含有する「香」の自律神経系に対する作用, 日大医学雑誌 63(6), 257-260, 2004. 6. 1
- 15) 木下優子: 嗅覚障害に対して瀉法を用いた後、補法を用いた漢方治療が有効であった1例, 伝統医学 7 (3), 22-23, 2004. 9
- 16) 矢久保修嗣: 葛根湯はカゼ薬だが・・・, 伝統医学 7 (4), 20-21, 2004. 12. 1
- 17) 木下優子: 緩和ケアのための漢方治療マニユ

アル作成と実際. 漢方と最新治療 Vol. 13 No. 4, 319-321, 2004. 11. 15

- 18) 木下優子, 鹿渡登史子, 白土辰子, 藤田智子, 他: 臨床緩和ケア (青海社). 大学病院の緩和ケアを考える会編. 2004. 6. 4
- 19) 木下優子: ウィメンズヘルスとライフ～日常生活. 治療 Vol. 86(6), 117-124. 2004. 6

## 8. 学会発表

- 1) 矢久保修嗣, 木下優子, 牧村瑞恵: 薬物の新規モニタリング法の構築とその応用. 平成15年度日本大学薬学部学術フロンティア推進事業研究成果報告会 (習志野市, 日本大学薬学部分子薬学研究センター), 2004. 2. 14
- 2) 木下優子: 緩和ケアチームにおける東洋医学科の活動について. 第33回日本慢性疼痛学会, (東京, 都市センターホテル), 2004. 2. 27
- 3) 木下優子: 緩和ケア・チームにおける漢方治療の取り組みについて. 第9回日本緩和医療学会総会, (札幌, 札幌コンベンションセンター), 2004. 6. 17-18
- 4) 室賀一宏, 荒川泰行: 梔子はく皮湯の使用経験. 第14回漢方治療研究会講演, (東京, 北里大学薬学部コンベンションホール), 2004. 9. 26
- 5) 木下優子, 藤田智子, 白土辰子, 矢久保修嗣: アロマセラピーと漢方治療について, 第28回死の臨床研究会, 2004. 10
- 6) 木下優子, 矢久保修嗣, 横瀬友好, 室賀一宏, 荒川泰行: 漢方治療によって腫瘍マーカーが正常になった子宮頸癌の1例. 第61回関東甲信越支部学術総会 (つくば市), 2004. 11. 17
- 7) 木下優子, 矢久保修嗣, 横瀬友好, 室賀一宏, 積田正浩, 福永稔, 荒川泰行: 鼻の閉塞感に対する辛い・がい葉・竜脳・ユーカリを含有する香の効果について. 第7回日本補完代替医療学会, 4004, 10, 29 (石川県立音楽堂)

## 8. 講演など

- 1) 木下優子: 女性の健康と漢方. NAHW 性差医療情報ネットワーク研究会. 2004. 1. 12 (国立オリンピック記念青少年総合センター)
- 2) 木下優子: 回復力を見直す. 第15回シンポジウム医療最前線, 新世紀の患者学. 2004. 1. 23 (メルパルクホール)
- 3) 木下優子: 東洋医学と緩和ケア. 第8回城北緩和医療研究会学術講演会, (東京, メトロポリタンプラザ), 2004. 3. 6
- 4) 木下優子: 千葉・明日の女性医療と漢方を学ぶ女医の会. 女性と漢方. 2004. 4. 25 (京成ホ

テルミラマーレ)

- 5) 木下優子：女性外来担当医師のための漢方入門セミナー I, 2004. 5. 30 OVTA (財団法人海外職業訓練協力センター)
- 6) 矢久保修嗣：防風通聖散の使い方, 症例発表. 第 17 回賀北漢方研究会. 2004. 7. 2 (新発田ベルナール)
- 7) 木下優子：働く女性の悩み・漢方で解決！女性セミナー講演会. 2004. 7. 13 (NEC 本社ビル)
- 8) 木下優子：横浜漢方 (舌診) ステップアップセミナー. 2004. 8. 28-29 (キャメロットジャパン)
- 9) 木下優子：産婦人科領域における実践漢方入門講座, 第 24 回産婦人科漢方研究会学術集会. 2004. 9. 12 (秋田拠点センターアルヴェ)
- 10) 木下優子：漢方でみる女性の一生. 2004. 9. 8 (江戸川区医師会館)
- 11) 木下優子：こんな症状はありませんか？見逃さないで女性の病気. (社) 東京臨床衛生検査技師会. 2004. 10. 23 (東京芸術劇場大会議場)
- 12) 矢久保修嗣, 木下優子：すぐに役立つ漢方療法. 石川漢方勉強会 [漢方のタベ] 2004. 11. 20 (金沢スカイホテル)
- 13) 矢久保修嗣, 木下優子：臨床研修指導医の為の漢方セミナー. 2004. 11. 21 (金沢都ホテル)

## 9. その他. 取材など

- 1) 木下優子：綿棒で塗るだけの花粉症治療があった！ 女性自身, 1月27日号, 66. 2004. 1. 27
- 2) 木下優子：風邪の民間療法に関するコメント, 日本テレビ, 汐留スタイル!, 2004. 1. 27
- 3) 木下優子：代替療法で乗り切る「花粉症」, 元気生活 2月号. 28-33. 2004. 2
- 4) 木下優子：女性にやさしい漢方薬局&病院リスト. 日経 WOMAN3月号, 156, 2004. 3
- 5) 木下優子：春を快適に過ごすための花粉症対策. あとびナビ 2月号, vol. 134. 8-10. 2004. 2
- 6) 木下優子：回復力を見直す. 読売新聞 29, 2004. 2. 21
- 7) 木下優子：つらい症状の緩和には漢方薬と食生活の改善が有効. 春のけんこう, 2004
- 8) 木下優子：慢性疼痛患者のチーム医療の在り方. MedicalTribune, Vol. 37, No. 12, 8, 2004. 3. 18
- 9) 木下優子：女性とストレス 2. 本人も気づかない「気」の異常. 週間朝日増刊号漢方, 56-57, 2004. 4. 5
- 10) 木下優子：漢方薬の上手な使い方. 女性特有の病気 Q&A, テレビ東京レディス 4, 2004. 3. 29
- 11) 矢久保修嗣：美しいボディラインの大敵「セ

ルライト」の徹底研究, 元気生活 6月号, 14-19, 2004. 6

- 12) 矢久保修嗣：診療風景写真. 漢方医学の歴史, 2004
- 13) 木下優子, 釈由美子：「美ボディ」をつくる野菜パワーに秘密. COSMOPOLITAN7月号, 2004. 7
- 14) 木下優子：秋の養生・冬の養生. 食べもの文化 10月号, 11-15, 2004. 1
- 15) 木下優子：血液サラサラについて. FM TOKYO MorningFreeway, 2004. 9. 15
- 16) 木下優子：むくみについて. 日本テレビ. 汐留スタイル! 2004. 9. 13
- 17) 木下優子：肥満・ダイエット対策によい漢方薬. 自然と健康 11月号. 15. 2004. 11
- 18) 木下優子：女医のチカラ, ばんぶう 11月号, 122-123, 2004. 11
- 19) 木下優子：私は野菜で変わりました！ 日経ヘルス 12月号, 2004. 11
- 20) 木下優子：ダイエット常識 Q&A. 週刊女性 11月30日号, 73. 2004. 11. 30
- 21) 木下優子：作用がおだやかで長期連用も可能な漢方薬. 主婦の友社レディースクリニック更年期障害, 110-113, 2004
- 22) 木下優子：花粉症, Gainer1月号, 2004
- 23) 木下優子：緩和ケアにおける補完・代替治療. MedicalTribune, 23, 2004. 12. 16
- 24) 木下優子：早め早めで、先手必勝！！花粉症, 社会保険出版社いきいき健康シリーズ